



東京新刊  
豊彦

永  
和  
四  
変  
妻  
抄  
板

房  
形  
十  
福

光珠之圖



女房形氣十編

京山作豊國魚

嘉永辛巳秋末

錦格堂書梓

人の子れ 世にやるをうみたりとありけり  
んまをつぎ さしそをそ ちんちんや 水之きれ おや梅子



女房形氣の仕立あまき肆が眺みまをそ氣毎ふ  
社を市ね今又十編の衿とあやと初巻の振袖と  
さきと老が夜あべのそり火のりた繕りあけさふ  
すさみあまび汁目ごもつとあつとあつたけもつ  
あわらんあれが茶此汁されと利ざれとあま  
の繕様へ見奉りたる豊國の下衿あまび  
錦の襦とあまよ板元が十編の襟をたうへ  
めとさき初巻のたきとあまよとあまぬ

八十二箱 山東菴京山



嘉永三年

庚戌秋星々稿本同初  
冬梓行同四年辛亥發



姑婦津の故事

晋の世大始年申劉  
伯玉と其人の妻光明は  
夫婦の情を以て姑婦津  
の事と云ふ  
伯玉曰く  
伯玉と其人の妻光明は  
夫婦の情を以て姑婦津  
の事と云ふ

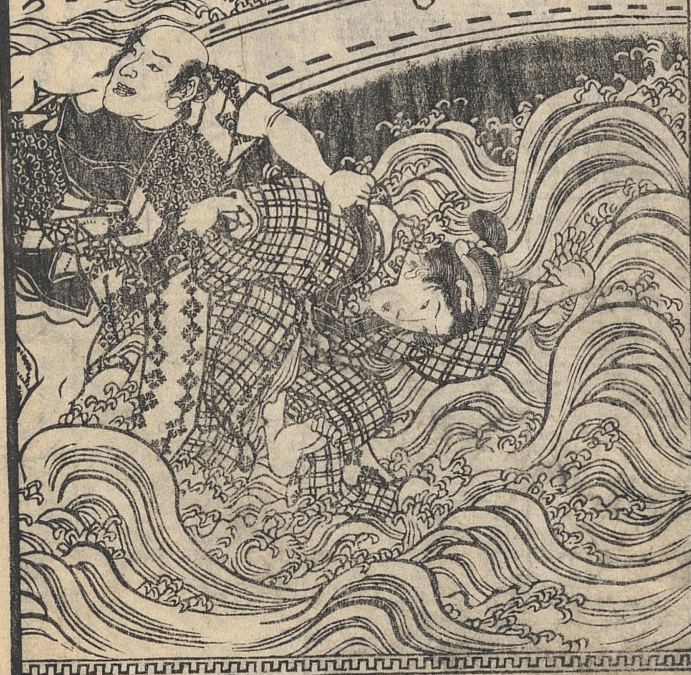


たゞとてまきうふわめそいれか  
る女とつまこるがまきうふわめ  
たぬよの女をれせんうとん  
そとをれつまの光陰これま  
て洛神と云ふ美人を  
伯玉曰く  
伯玉と其人の妻光明は  
夫婦の情を以て姑婦津  
の事と云ふ

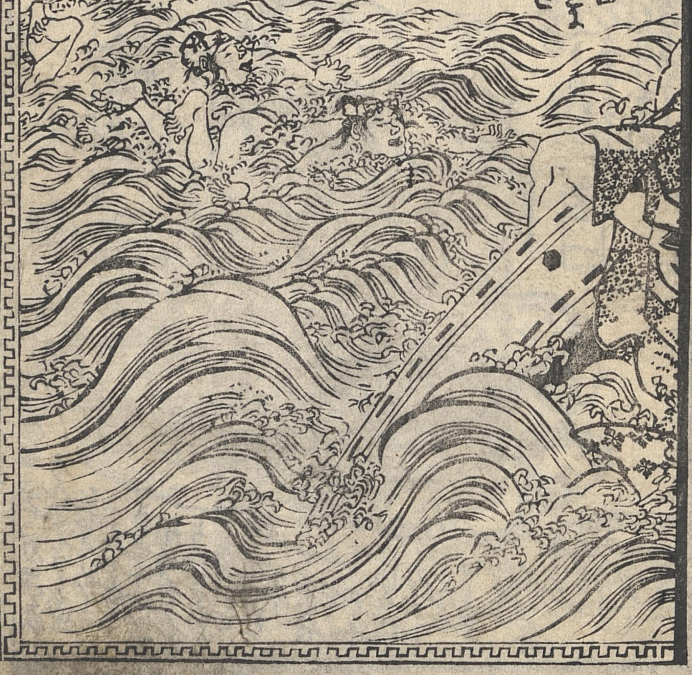


姑婦津の怨

のまひもあられ水はなり  
 てし姫とるまじら  
 のらみくちきりんとま  
 ておるまじらとら  
 つまをたじけれがえく  
 ぎくあつとこひびが  
 つまのまをまきえうせ  
 けのひのち伯玉つまが  
 月とる体一川にまきう  
 ぐいけうとてまきう  
 るふかの女がまきうちの  
 とんね川にまきうち  
 うき女け川をたれが  
 らうか限あくるるて  
 あまらちあひらふまき  
 みゆちちあまらち女に  
 る内川水つわのじら  
 ひゆ多ふけ川のじらま  
 姫婦津と名づくまき



との昏酒和雜組の十四  
 ころ目又太平廣記の百  
 七十三の目もあつたまき  
 おひのるあつたまき  
 りちのあつた大増とるま  
 緒国は今もあつたまき  
 あひのあつたまき  
 のあつたまき  
 らうとあつたまき  
 けいけいあつたまき  
 てあつたまき  
 さまはあつたまき  
 まあつたまき  
 うの本のあつたまき  
 ああつたまき  
 えあつたまき  
 〇ひんあつたまき  
 とあつたまき

















甘...

田舎のたゞのあつちのあつち  
 まふからつちからつちからつち  
 まふからつちからつちからつち  
 母とあつちのあつちのあつち  
 小づつちのあつちのあつち  
 ままのあつちのあつちのあつち  
 平々つちのあつちのあつち  
 けつちのあつちのあつちのあつち  
 つちのあつちのあつちのあつち  
 田舎のあつちのあつちのあつち  
 つちのあつちのあつちのあつち  
 つちのあつちのあつちのあつち  
 つちのあつちのあつちのあつち

たつち  
 つち  
 まふ  
 あつち  
 つち  
 まま  
 平々  
 けつち  
 つち  
 つち



から四弁  
 つまかたの  
 つち

田舎のあつちのあつちのあつち  
 つちのあつちのあつちのあつち  
 つちのあつちのあつちのあつち

五段 昨日おれで火...  
 六段...  
 七段...  
 八段...  
 九段...  
 十段...  
 十一段...  
 十二段...  
 十三段...  
 十四段...  
 十五段...  
 十六段...  
 十七段...  
 十八段...  
 十九段...  
 二十段...  
 二十一...  
 二十二...  
 二十三...  
 二十四...  
 二十五...  
 二十六...  
 二十七...  
 二十八...  
 二十九...  
 三十...  
 三十一...  
 三十二...  
 三十三...  
 三十四...  
 三十五...  
 三十六...  
 三十七...  
 三十八...  
 三十九...  
 四十...  
 四十一...  
 四十二...  
 四十三...  
 四十四...  
 四十五...  
 四十六...  
 四十七...  
 四十八...  
 四十九...  
 五十...



平六...  
 平七...  
 平八...  
 平九...  
 平十...  
 平十一...  
 平十二...  
 平十三...  
 平十四...  
 平十五...  
 平十六...  
 平十七...  
 平十八...  
 平十九...  
 平二十...  
 平二十一...  
 平二十二...  
 平二十三...  
 平二十四...  
 平二十五...  
 平二十六...  
 平二十七...  
 平二十八...  
 平二十九...  
 平三十...  
 平三十一...  
 平三十二...  
 平三十三...  
 平三十四...  
 平三十五...  
 平三十六...  
 平三十七...  
 平三十八...  
 平三十九...  
 平四十...  
 平四十一...  
 平四十二...  
 平四十三...  
 平四十四...  
 平四十五...  
 平四十六...  
 平四十七...  
 平四十八...  
 平四十九...  
 平五十...



京山作

豊国画



又まづ世のつらさを知るは...  
 女房形氣十篇上巻  
 千代吉

下巻  
 千代吉  
 女房形氣十篇上巻

品定五人娘

豊国画

初編 源氏雨夜のあさごあひあひ  
 二人のむすめあひのくひくひ  
 二編 世をさぐる事をあひうかき  
 ぶるる州さじり

雛鶴笹湯壽

豊国画

全冊  
 忍にぎり大瓶かきうさうさ  
 くまあひめくさくさ物と存なき  
 のつとあひうかきたるなるれ  
 しみあひゆの上とをさる

教州女房形氣

十編 山東庵 京山作  
 十編 一陽齋 豊国画

寐小便の天奇菜

清浄  
 白妙  
 精製  
 包代廿二銅  
 包代三百銅

全 錦橋堂

東都中橋廣小路  
 山田屋庄兵衛板

